



水戸市ニュースリリース

水戸市マスコットキャラクターみとちゃん



令和8年10月28日

市政記者各位

水戸市

水戸出身の名カメラマン・川又昂が撮影した名作上映や水戸芸術館館長によるトークイベントを実施 年に一度の映画の祭典「第41回水戸映画祭」

今年は、水戸市出身の名カメラマン・川又昂（かわまた たかし）氏が撮影した「砂の器」をはじめとする日本映画の名作を上映します。その他、ドキュメンタリーから短編映画集など、多種多様な6作品を2日間にわたり上映します。

作品上映後には、水戸芸術館 片山杜秀館長をはじめ、監督や出演俳優をゲストに招いたトークイベントも開催します。水戸の映画文化を体感できる2日間を御堪能ください。

記

- 1 日程** 11月7日（土）、8日（日）
- 2 会場** 水戸芸術館 ACM 劇場（五軒町1-6-8）
- 3 チケット** 全席指定（プログラム入れ替え制）※9月25日から発売中
A・B・C・E・Fプログラム 一般1,500円、25歳以下1,000円
Dプログラム 一般1,500円、25歳以下1,000円、12歳以下 無料
※25歳以下、12歳以下のチケットを御利用の方は、御入場の際、年齢確認ができる証明書等が必要となります。
- 4 チケット販売** 水戸芸術館（営業時間9:30～18:00、月曜休館）
水戸芸術館エントランスホール内チケットカウンター
水戸芸術館チケット予約センター（TEL:029-225-3555）
ウェブ予約 <https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>（24時間対応）
- 5 主催** 水戸映画祭実行委員会、（公財）水戸市芸術振興財団
- 6 後援** 水戸市教育委員会、（一社）水戸観光コンベンション協会、茨城新聞社、読売新聞水戸支局、朝日新聞水戸総局、毎日新聞水戸支局
- 7 協力** いばらきフィルムコミッション、みとフィルムコミッション、株式会社パブリックアート、あまや座、特定非営利活動法人シネマパンチ、茨城映画センター、310+1 シネマプロジェクト、K5 ART DESIGN OFFICE、株式会社ブックエース、ホテル水戸シルバーイン
- 8 その他**
 - ・上映中の録音、録画、撮影は御遠慮ください。
 - ・トークイベントのみ会場内での取材が可能となります。
 - ・トークイベントにおいても、会場内での取材の可否を事前に確認する必要があります。取材を御希望の際は、水戸映画祭実行委員会事務局までお問合せください。
 - ・写真等撮影の際は、腕章着用のうえ、シャッター音の御配慮及びフラッシュの使用は御遠慮ください。

《本件に関する問合せ先》

内容について 水戸映画祭実行委員会 事務局（株式会社パブリックアート内）TEL:050-8896-8997

※上記がつかない場合（事務局長 大内）

TEL:090-1797-2446

会場について 水戸芸術館

TEL:029-227-8111（代表）

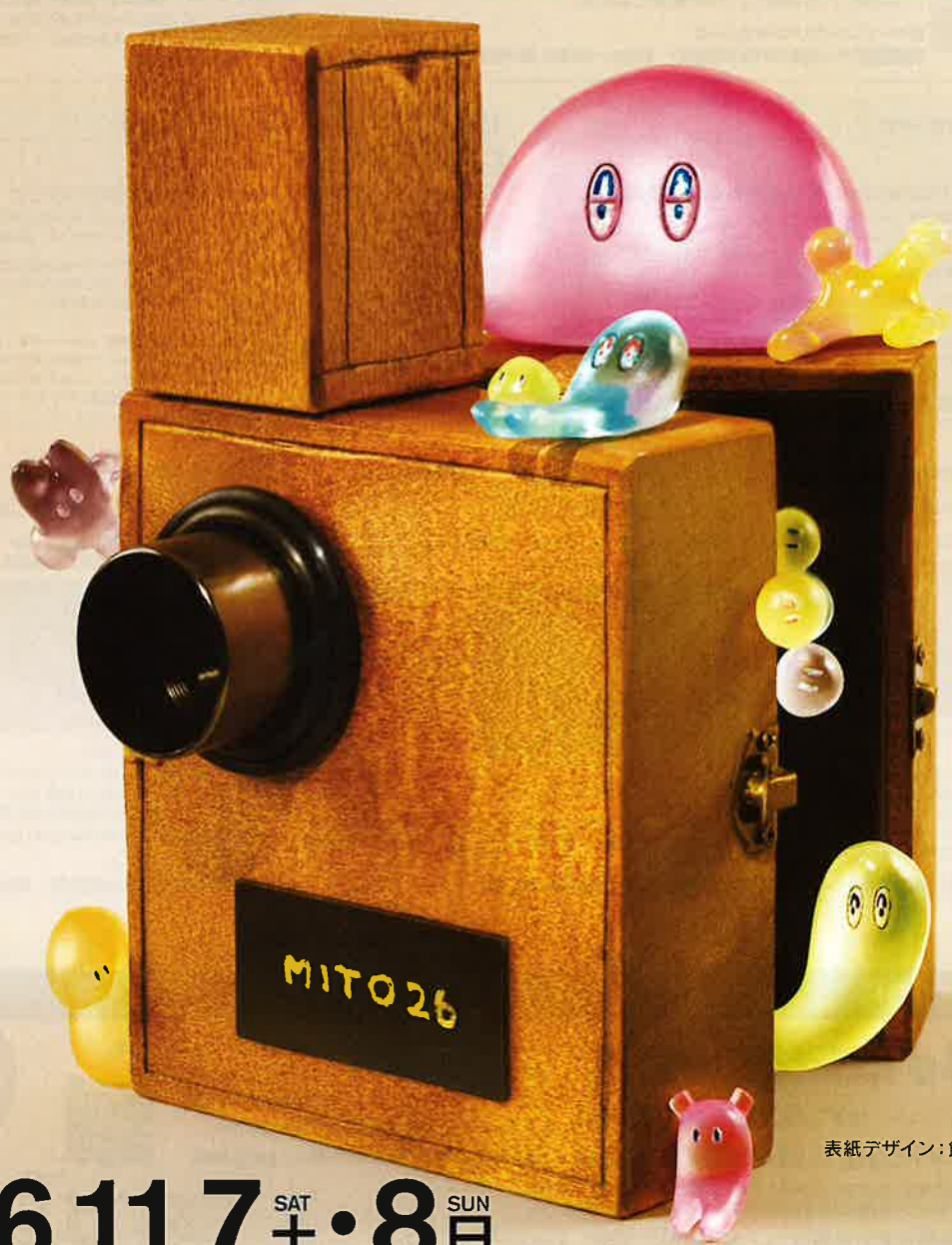
広報について 水戸市文化交流課（担当者：倉澤、小石川）

TEL:029-291-3846（直通）

MITO FILM FESTIVAL

MITO
CREATIVE
WEEK 2026

第41回 水戸映画祭



表紙デザイン：飯塚貴士

2026.11.7^{SAT} 土・8^{SUN} 日

会場：水戸芸術館ACM劇場 〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8 <https://mitofilmfes.jp/>   

チケット
9月25日(金)
発売!

主催：水戸映画祭実行委員会 公益財団法人 水戸市芸術振興財団

後援：水戸市教育委員会 一般社団法人水戸観光コンベンション協会 茨城新聞社 読売新聞水戸支局 朝日新聞水戸総局 毎日新聞水戸支局

協賛：茨城トヨペット株式会社 株式会社 バカ・ザ・バック 茨城いすゞ自動車株式会社 ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸 (水戸映画祭ではご協賛いただける企業様を随時募集しております)

協力：いばらきフィルムコミッション みとフィルムコミッション 株式会社パブリックアート あまや座 特定非営利活動法人シネマパンチ

茨城映画センター 310+1シネマプロジェクト K5 ART DESIGN OFFICE 株式会社ブックエース ホテル水戸シルバーイン

令和8年度水戸市補助事業



MITO FILM FESTIVAL

第41回
水戸映画祭

違うから、おもしろい。いっしょだから、愛おしい

今年の水戸映画祭は、「Coexistence 共に」をテーマにお届けします。近年、世界各地で社会の分断と排除の空気が濃くなっているように感じます。このような時だからこそ、正論や言葉だけでは飛び越えられない心の壁を、ふつと溶かしてくれる物語が必要なのではないでしょうか。物語をひとつ観るたびに、知らない誰かが他人ではなく、自分ごととして愛おしく思えてくる。物語は、ちがはぐな私たちが共に生きていくための、一番優しい架け橋になると信じています。暗闇のなか、同じスクリーンを見つめ、共に笑い、共に息をのむ。水戸映画祭で生まれるあたたかな時間が、みなさまの明日を少しでも優しく照らすことを願ってやみません。

イベント

第41回水戸映画祭記念 「水戸野外映画上映会2026」

9.12 18:00~20:35 ※予定日13日(日)

場所:水戸芸術館広場 全席無料、自由席

※小雨決行 荒天の場合は翌日に順延、翌日荒天の場合は中止

『ウィキッド ふたりの魔女』(字幕版)

2024年 | アメリカ | 161分

監督:ジョン・M・チュウ

出演:シンシア・エリヴォ アリアナ・グランデ

ジョナサン・ペイリー ほか

配給:東宝東和

クラウドファンディング募集中! 是非ご協力ください。



©2024 Universal Studios. All Rights Reserved

スペシャルプログラム 「水戸に育った名カメラマン・川又昂の見た風景」 『砂の器』をはじめ、日本映画の名作、ヒット作を撮影したカメラマンが求めたもの

11.7 10:20~ A program (水戸・茨城と映画)



©1974松竹株式会社/権本プロダクション

『砂の器』35mmFILM上映

映画の「宿命」を写し出した名手・川又昂。

日本映画史上に名を残す傑作を、ゆかりの地・水戸で、35mmフィルム上映!

1974年/日本/143分 原作:松本清張 監督:野村浩太郎 脚本:橋本忍 山田洋次 撮影:川又昂

出演:丹波哲郎 加藤剛 森田健作 春日野浩 ほか 配給:松竹

松本清張原作の同名小説の映画化。東京・蒲田で起きた身元不明の殺人事件を執念で追う刑事たちの姿と、過去を隠して天才音楽家となった男の悲劇的な宿命を描く。

■オープニングスペシャルトーク

トークゲスト 片山杜秀(水戸芸術館館長) 春日太一(映画史・時代劇研究家)

日本映画の黄金期を捉えた“水戸の眼”

川又 昂(かわまた たかし) 撮影監督

1926年~2019年 東京都台東区生まれ。茨城県水戸市育ち。日本映画学校を卒業後、1945年に松竹入社。松竹大船撮影所で、小津安二郎監督作品に撮影助手として、9作品参加。大島渚監督がメガホンを取ったスター紹介短編映画『明日の太陽』(59)で撮影監督に抜擢される。以降、日本を代表するカメラマンのひとりとして活躍。野村浩太郎監督との名コンビで『砂の器』『事件』『鬼畜』といった70年代の日本映画の代表作を手がけた。大島渚監督作品『青春残酷物語』『太陽の罠』(60)、小林正樹監督作品『からみ合い』(62)、今村昌平監督作品『黒い雨』(89)ほか代表作多数。生涯で93作品を手掛けた。晩年は、後輩の育成や、小津安二郎監督作品、大島渚監督作品などの修復作業にも尽力した。



画像提供:株式会社ボイジャー

11.7 14:00~ B program (世界への扉)

『ハムレット』

シェイクスピアの劇団「グローブ座」をモデルに設計されたACM劇場で鑑賞する珠玉体験



©2025 FOCUS FEATURES LLC. ALL RIGHTS RESERVED.

2025年/イギリス/126分

監督:クロエ・ジャコ

出演:ジェシー・バックリー ポール・メスカル エミリー・ワトソン ほか

配給:ワルコ ユニバーサル映画

シェイクスピアの名作戯曲『ハムレット』の誕生の背景にあった愛と悲劇を、妻アグネスの視点を通して、繊細に描き出した心震える物語。2027年1月、ACM劇場にて上演される『ハムレット』の台本を新聞訳された小田島創志さんと、片山杜秀館長とのスリリングなトークをお楽しみいただけます。

トークゲスト 片山杜秀(水戸芸術館館長) 小田島創志(翻訳家)

11.7 17:10~ C program (水戸・茨城と映画)

『この夏の星を見る』

人と世界と繋がる茨城県の星空を、スクリーン&水戸の夜空でつかもう!



©2025(この夏の星を見る)製作委員会

2025年/日本/126分 原作:辻村深月 監督:山元環

出演:坂田ひより 水沢林太郎 黒川想矢 中野有紗 ほか 配給:東映

直木賞受賞作家・辻村深月の同名小説を映画化。コロナ禍で複雑な思いを抱える茨城、東京、長崎の中高生たちが、「スターキャッチコンテスト」の開催に挑む青春物語。

■星空観察会開催!上映&トーク終了後に星空観察を開催!中作天文部顧問のモデルで天文監修も務めた岡村典夫先生と一緒に映画に登場した星を観測しよう!(曇天、雨天時は室内で星空特別解説を開催)会場:水戸芸術館広場/時間:20時~予定/事前申し込み不要

11.8 10:30~ D program (記憶を巡る物語)

『ライフテープ』※バリアフリー-日本語字幕、おたがいきまシネマ

日常のきらめきと、前向きに生きる力が詰まったドキュメンタリー



2025年/日本/101分/ドキュメンタリー

監督・撮影・編集:安楽涼

出演:隆一(RYUFO)

朱香 迫久

フィカロ ほか

配給:東風

©「ライフテープ」製作委員会

難病に向き合いながらも、前向きに明るく今を生きる家族の日常を、親友である監督の温かい目線で紡がれる愛と友情の記録。

“おたがいきまシネマ”上映:いろいろな方たちの「映画館で映画を観たい」という気持ちに、少しでも寄り添い、場内の照明は通常より少し明るくしたり、声が出てしまったり、途中での出入りをOKしたりするなど、それぞれの事情に合わせて気兼ねなく映画を楽しむことができる上映です。
※未就学児のご入場も可能。(席が必要な場合は必ず券券してください)

トークゲスト 安楽涼(映画監督) 隆一(出演) 朱香(出演)

11.8 13:40~ E program (水戸短編コネクション)

『急に具合が悪くなる』

この映画との出会いが、あなたの人生を変える。

強く心を揺さぶる、比類なき傑作。



©2026 Cinéfrance Studios - Arte France Cinéma - Office Shirus - Bitters End - Heimannfilm - Tarentula - Gaspard - Sienne Player - Scudain JPN Partners

『ドライブ・マイ・カー』の濱口竜介監督が、パリで偶然出会った、がん闘病中の日本人演出家とフランスの介護施設長2人の女性の交流と世界に對する姿を描き出す。

トークゲスト 長塚京三(俳優) 他ゲスト調整中

2026/フランス=日本=ドイツ=ベルギー/196分

監督:濱口竜介

原作:宮野真生・磯野真穂

『急に具合が悪くなる』(原文)

出演:ヴィルジニー・エフィラ

岡本多緒 長塚京三

黒崎暲代

配給:ピタース・エンド

11.8 18:00~ F program (short film spirits)

『ショート・パルス 5つの鼓動』

現代映画を牽引する監督たちによる

短編映画5本をひとつに束ねた短編集



『まっすぐな首』監督:空音央

『ニミシ NIMIC』監督:ヨルゴス・ランティモス

『ザ・フォール THE FALL』監督:ジョナサン・グレイザー

『ストラズール1518 STRASBOURG 1518』監督:ジョナサン・グレイザー

『都市の寓話 An Urban Allegory』監督:アリーチェ・ロルヴァケル&JR

■クロージングトーク

トークゲスト 高永昌敬(映画監督) 飯塚貴士(映画監督)

TICKET INFORMATION

2026 11.7±8 日 プログラム入替制【全席指定】
※各プログラム15分前開場となります

A,B,C,E,Fプログラム 各¥1,500, U-25 ¥1,000

Dプログラム ¥1,500, U-25 ¥1,000 U-12無料

※U-12無料の方も、席を必要とする場合は、必ず人数分のU-12無料チケットを券券してください。

※U-25、U-12チケットをご利用の方は、当日ご入場の際には、年齢を証明するものが必要になります。

●内容に関するお問い合わせ 水戸映画祭実行委員会 Tel.050-8896-8997 (株式会社パブリックアート内)

●会場に関するお問い合わせ 水戸芸術館 Tel.029-227-8111 <https://www.arttowermito.or.jp/>

●Dプログラムを除き、未就学児のご入場はご遠慮ください。●車椅子のお客様、盲導犬、介助犬同伴のお客様は、チケット予約時に水戸芸術館へお知らせ下さい。●公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し、交換等はお受けできませんのでご了承ください。※上記の内容は予告なく変更になる場合がございますのでご了承ください。

公式サイト <https://mitofilmfes.jp/>

X@mito_tanpen @mito_eigasai f mito.short.film.festival



【チケット取扱い】水戸芸術館(営業時間9:30~18:00、月曜休館)

◎エントランスホール内チケットカウンター

◎チケット予約センター Tel.029-225-3555

◎ウェブ予約(24h・発売初日は9:30から)

<https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>



9月25日(金)
発売!

